

京花さんのイタリアレポート！

こんにちはみなさん！イタリアの京花です！今日はみなさんが少しは気になってくれているであろうイタリア語について説明したいと思います！

まず、イタリア語の語源は中世の欧州用語であったラテン語が派生したもので、ダンテ（イタリアの詩人・哲学者）の神曲によってイタリア語として確立されたと言われていています。ラテン語系統でいうと他にはスペイン語やフランス語がありますね！なのでこの3つの言語はかなり似ていると言われていています。実際私もスペイン語を勉強していたのですが文法だったり単語（少しだけ）だったり似てるなと思うことは多々あります。

イタリア語には女性名詞・男性名詞があり、さらには6人称まであります。「私、あなた、彼/彼女、私たち、あなた達、彼ら」の6つです。最初6人称までであると聞いた時「ありえないだろ！」と思いました。

1つ例を紹介します。例えばこの「mangiare（マンジャーレ）」。意味は「食べる」ですがそれぞれ主語によって形が変わります。つまり主語に合わせて活用しなきゃいけません。さっきの主語の順番に合わせて言うと「mangio、mangi、mangia、mangiamo、mangiate、mangiano」になります。これは現在形ですが、過去形にしても未来形にしても全て活用します。さらにイタリア語には「現在、半過去、遠過去、未来形」があり英語のように「不定詞、現在分詞、過去分詞」もあれば「ジェルンディオ」という全く聞いたことのないような語法もあります。ジェルンディオは「今していること」を表すものです。例えば「Mi sto mangiando la pizza」。意味は「今ピザを食べています」という意味になります。最初の頃はこの活用を全く理解できず全て原型で話していました。主語があるので分かってくれますが、活用してと言われたこともありました。今では活用して話せるようにはなりませんが、遠過去とかになるとやっぱり難しいです。ですが、難しいからこそ相手にイタリア語で伝わった時の嬉しさは計り知れません。イタリアに着いた当初は英語で話していましたが、イタリア語をだんだんと使うようになり今ではイタリア語の方が英語よりもサラッと出てくるようになりました（笑）サルデーニャにいる留学生友達みんな英語がペラペラだったり英語圏の人だったりしますが、私は考えて英語を話すよりも一歩話しが遅れてしまうのもあり最近みんなとイタリア語で話しています。

こう聞くと「イタリア語むずっ！」と思うかもしれませんが（実際に難しいし苦戦はしていますが）、実はパターンを覚えるとそうでもないんです。例えば「私」を主語にして2つほど例を挙げると、「mangiare」で言えば「mangio」、「cantare（歌う）」で言えば「canto」になります。全部reを取ってoで終わってる感じがしますよね？！もちろん「andare（行く）」→「vado」のように全く違う形に活用する場合もありますが、私の見解でいうとほぼoで終わっているのです。私はこれでなんとか乗り切ってます！（笑）

時々似ている単語はありますが英語とは全く違うので大変だとは思いますが、さらに同じラテン語系のスペイン語とも違い、イタリア語はイタリアの中とスウェーデンの一部でしか使われていないと聞きます。イタリア語を勉強するという人にとって今回のレポートが少しでも参考になればなと思います。もちろん、イタリア語学習者だけでなくラテン語系統の言語を学習している人にもです！今回のこのレポートで「イタリア語に興味が出てきた！」って方がいれば嬉しいです！その際は何でも質問してください^^



それではまた次のレポートでお会いしましょう！Un bacio a voi !! Ciao ciao!!